

大根根腐病 (*Pellicularia filamentosa*) について

第2報 菌と温度との関係

新 留 伊 俊

(鹿児島県農業試験場)

馬鈴薯寒尺培養基を用い、常法に従い菌糸の発育と温度との関係を検討したところ最低 1.5°C 以下、最高 32~35°C、最適 22°C 附近であり、又大根に対する感染温度は最低 0~3.9°C、最高 28.6~29.5°C であつた、Lauritzen が 1929 年貯蔵蕪から分離した Rhizocto-

nia 菌について Turnip strain (菌糸の発育最低温度 0~2°C、最高 31.5~34.5°C、最適約 23°C、蕪に対する感染最低温度 1°C、最高 32°C) として報告したが、本病菌も温度反応から見てほぼこれと一致する。